

高校つぶしでなく30人学級を！



統廃合案を撤回してください！

淀商業・鶴見商業・住吉商業の

大阪府教委は、淀商業高校・鶴見商業高校・住吉商業高校の3校を1校に統廃合する案を発表しました（時期やどの校地に統合するかは今後検討）。背景には、「3年連続で定員に満たない高校は再編整備」と規定する府立学校条例や府教委の再編整備計画があります。しかし、これらには道理がありません。私たちは、学ぶ権利を侵害する高校つぶしに反対し、案の撤回を求めます。

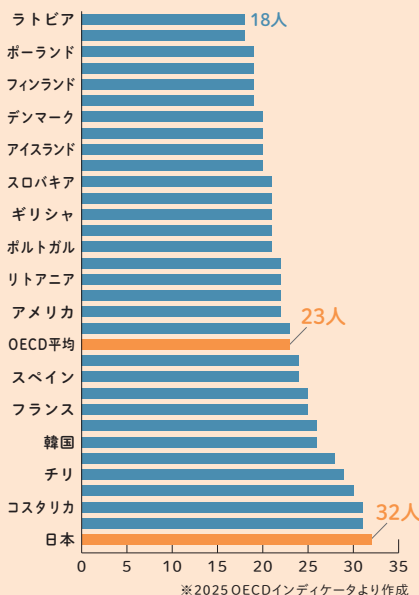
理由① 少子化は30人学級のチャンス！ 教育条件の改善をおこなうべきです

府教委が昨年策定した府立高校改革アクションプランは、「2040年までに32校減」と試算しました。しかし、その前提は40人学級・1学年7クラスという過大・過密な学校規模。不登校児童・生徒の増加が社会問題となっている今、これまで以上に一人一人に丁寧な教育が求められます。国際社会では20人学級が当たり前。仮に30人学級で試算すれば、高校は1校も減らす必要がありません。

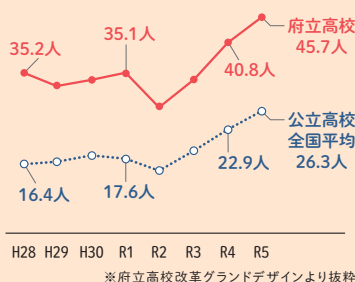
理由② 定員割れは学校のせいではありません

府立高校の定員はセーフティネットのため、進学予定者より多く設定されています。定員割れは学ぶ権利を守るために必要な「ゆとり」の結果です。また、「授業料無償化で私学に生徒が流れている」と言われますが、大阪では私学も約半数は定員割れ。競争をあおる施策が、公立・私立の各校に過度な広報活動による生徒の奪い合いを強いているのです。道理のない府立学校条例の規定は撤廃し、学区を復活させるなど過度となっている競争を緩和すべきです。

1クラスの人数の比較(中学校)
日本はOECD最下位



不登校生徒数の千人率
(府立高校と全国の公立高校)



大阪の高校を守る会

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11-705 ☎ 06-6768-2106 [2026年9月発行]

署名にご協力
ください

署名用紙は、
<http://www.fukokyo.org/>
からダウンロードできます。

